

札幌市勤務医協議会ニュース

発行 札幌市勤務医協議会
札幌市中央区大通西19丁目
札幌市医師会館内

会長挨拶

「自分がいなければ」と気負うのをやめましょう

会長 土田 哲人

私事で恐縮だが予期せぬ病気で昨年2ヶ月の休職を余儀なくされた。入院してみてわかったこと、「自分がいなくとも組織は機能する」。休職時職場はさぞ大変な混乱をきたしていることだろうと心配していたが、後輩からは「何事も問題なく進んでいます、心配無用。」との気遣いのある返事。実際、担当入院患者は後輩が分担して主治医となり、担当外来には大学から応援医師がすぐに補充され、予定されていた学会・学術講演会の演者・座長、大学講義にはすぐ代役が立てられ、論文校正、市内出張さらには院内外の会議の連絡に至るまで速やかに手配されていた。端的にいうといないと迷惑だが困りはしないという程度状況。病床のなかで感謝・安心するとともに正直なところ少しがっかりとした気持ちになったのも事実である。「患者のキモチ」としては事実でなくても「大変紛糾しており、早く復帰してもらわなければ困ります」とでも言ってくれた方が生きる気力が湧くと言うものである。一方で今考えると「わたしがいなければ、わたしがやらなければ」といった思い込みのみが空回りしていたのではないかと反省する。予期せぬ事態が起こった場合にもすぐに対応できる代償能力、リスク回避能力が自然に備わっていることが組織の成熟度である。本来、組織は自分ひとりの能力で形成されるものではないが、自分がいないことで組織が機能不全に陥るようであれば、自分のワンマン性が影響し未熟な組織しか構築できなかったことを理解すべきである。つまり、私のように「あの人がいなくてもだれも困らない」と後輩に言われている程度の存在が組織として丁度いいのかもしれない。

逆に、職場復帰してわかったこと「自分がいた方が組織はよく機能する」。最初は自分の居場所はもうな

いのではと思った(職場にいったら自分の部屋と机がなくなっていたというリアルな夢も見た)が、多くの患者さんがまた自分のところに戻ってきてくれたこと、以前と同じように自分を指名して患者様を紹介してくれる先生がいること、自分がいた方が、会議が円滑に進み実効性がよいこと、適度な緊張感が漂うこと(?)、人事面の交渉がスムーズに行くこと等々、それなりに存在価値はあるように思われる。またその感覚自体が仕事のうえで「やりがい」と感じる部分なのだと思う。価値観で大切なのは人からどう思われるのかではなく、自分がどう感じるのかである。入院前と比べて物理的には大きな役割は果たしてはいないのだろうが、仏教用語でいう「この世に生かされている理由」を感じている毎日である。

今回のメッセージ、「あなたがいなくても組織は死なないが、あなたがいれば組織はより生きる」。あまり気負わないで、疲れたら病気になる前に少し休みましょう。そして、一方、職場で「やりがい」をもって働いている自分の姿をイメージしてみてください。

(J R 札幌病院)

記念講演会抄録

「知らなかった山の医療

～登山外来の現場から」

社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院

循環器内科・山岳登山外来

英国国際山岳医 大城 和恵

2017年5月24日、札幌市勤務医協議会特別講演会でお話の機会を戴きました。山岳医として活動するようになって、私自身多くのことを学んでいましたので、その一部を紹介させて頂きました。

まず、複数回、異なる登山隊と海外登山及び遠征に帯同する機会を戴いた際のことです。各登山及び遠征は、山域、目的、登山時期、登山期間、登山隊の規模、

隊員の年齢や登山歴など、それぞれ異なる要素を含んでいます。例えば、隊員構成でいいますと、経験豊富だけれど年齢層が高い場合、一方経験不足ではあるけれど年齢層が若い隊など、構成も様々。メリットもあればリスクも有ります。これら一つ一つ、どの程度のリスクがあるか、評価しながら医療対応をしていきます。

医薬品の準備は既存の国際ガイドラインと先行研究に準じ、日本の薬事法を遵守し携行しました。エベレスト街道のように、観光客や登山者の多い場所には、医療機関もありますが、医療機関を持たない山域には、持参する医療品も多くなります。事前に隊員の健康診断を行います。また、隊員によっては事前に予備遠征に行き、体力や健康面の確認をすることもあります。

現地では隊員、ポーター、コックなどチーム全員の医療対応のみならず、他隊の隊員やポーター、現地の居住者の対応も行ないました。医療者として頼られることはとても有り難いものでした。現地で対応した疾患、使用した医薬品を記録し、遠征毎にまとめると、年齢や経験、職務により疾患罹患に傾向の違いを認めました。経験豊富な登山隊は、山で起こる健康被害をよく理解していますので、彼らは殆ど自分で対処でき、日常生活の延長というような疾患対応ぐらいでした。未経験の隊員が多い場合は、高山病、紫外線、靴ずれ、脱水対策など、登山の基本となるような対応が多くなりました。ポーターは、重い荷揚げをするため、殆どが、筋肉痛でした。

海外登山や遠征では、このように同じ山域でも登山者によって医療対応が異なること、また登山者とポーターでも疾患特性が異なることが集計した結果として分かりました。

私のもう一つのライフワークと言えるものは、遭難予防活動です。このため、日本の山岳死因を5年分調べてみますと、3大死因は、外傷、低体温症、心臓死、ということがわかりました。心臓死は、突然発症し、急速に悪化するため、山の中から医療機関に搬送して救命することは、非常に困難です。現在、私が勤務する北海道大野記念病院では、山岳登山外来を開設させて頂いております。夏が近くなってくると、健康に登りたい、病気になるけれど登山ができるだろうか、と、近隣の先生に御紹介戴いたり、自ら健康診断に来られる方が増えてきました。心臓死を予防することを念頭

に、受診される方には、基本的に登るためにはどうしたらよいか、という考え方で検査結果を評価し、アドバイスをしています。高血圧のある方、一度も心臓の検査を受けたことの無い方には、登山前の受診をすすめています。

また、夏山登山の遭難を調べてみると、「疲労」の訴えが多く、脱水関連によるものが占めていることもわかりました。現在、夏山の登山口で、登山前の脱水を補正して登ってもらうよう、北海道と長野県で活動をしています。そんな活動の日に、脱水絡みの遭難が無いと、とても嬉しいです。

山に関わる医療のお話、皆さんが温かく聞いて下さり、とても楽しい時間を戴きました。ありがとうございました。



所 感

「自重自敬」の精神について

幹事 水尾 仁志

2017年4月7日京都大学入学式での第26代総長 山極 壽一先生の式辞が混迷した現代社会について大変示唆に富む内容でありましたので一部紹介します。以下式辞です。

京都大学は1897年の創立以来、「自重自敬」の精神に基づき自由な学風を育み、創造的な学問の世界を切り開いてきました。地球社会の調和ある共存に貢献することも京都大学の重要な目標です。今、世界は20世紀には想像もしなかったような急激な変化を体験しつつあります。東西冷戦の終結によって解消するはずだった世界の対立構造は、民族間、宗教間の対立に

よってますます複雑に、過酷になり、地球環境の悪化は加速し、想定外の大規模な災害や致死性の感染症が各地で猛威をふるい、金融危機は国の経済や人々の生活を根本から揺さぶっています。その荒波の中で、京都大学が建学の精神に立ちつつ、どのようにこの国や社会の要請にこたえていけるかが問われていると思います。

京都大学は自学自習をモットーにして、常識にとられない、自由な学風の学問の都であり続けなければなりません。そのためにまず、京都大学は静謐な学究の場であるとともに、世界や社会に通じる窓としての役割を果たさねばならないと思います。さて、では常識にとられない自由な発想とはどういうことを言うのでしょうか。私が高校生だった 1960 年代に流行った歌があります。昨年ノーベル文学賞を受賞したボブディランの、

“How many roads must a man walk down
Before you call him a man?”

人間として認められるのに、人はいったいどれだけ歩めばいいの？”

という問いで始まる歌です。そして、

“How many ears must one man have
Before he can hear people cry?”

人々の悲しみを聞くために、人はいったいどれだけの耳をもたねばならないの？

How many deaths will it take till he knows
That too many people have died?”

あまりにも多くの人が死んだと気づくまで、どれだけの死が必要なの？”

と続きます。それは、

“The answer, my friend, is blowin’ in the wind
The answer is blowin’ in the wind
友よ、答えは風に吹かれている”

という言葉で終わるのです。

これはボブディランが 21 歳のときに作った歌で、「答えは風に吹かれている」というのは、「答えは本にも載っていないし、テレビの知識人の討論でも得られない。風の中にあって、それが地上に落ちてきても、誰もつかもうとしないから、また飛んでいってしまう」という気持ちを表したもののなのです。彼はこうも歌います。

“How many times can a man turn his head

And pretend that he just doesn’t see?”

そう、この歌は、誤りを知っていながら、その誤りから目をそらす人を強く非難しているのです。これは、1960 年代に起こったアメリカの公民権運動の賛歌で、日本でも多くの若者が口ずさんだものです。

大学には、答えのまだない問いが満ちています。しかし、その問いに気づくためには、利己的な考えを脱ぎ捨てて、この世界を新しい目でながめる必要があります。常識にとられない発想とは、これまで当たり前と思われてきた考えに疑いを抱いたとき、それに目をそらさず、真実を追究しようとする態度から生まれます。どんな反発があろうと、とっぴな考えと嘲笑されようと、風に舞う答えを、勇気を出してつかみとらねばならないのです。これまで京都大学は、この精神のもとに多くの新しい発見や独創的な考えを世に出してきました。日本初のノーベル賞受賞者である湯川秀樹先生は、京都大学教官研究集会で、「私たちの生きている、この世界に内在する真理を探究し、真理を発見し、学生たちに、後進の人たちに、そして学外の人たちにも、真理を伝達することが、大学の本来の使命である」と述べています。そこには、大学の知は私的な利益追求のためにあるのではなく、常に公共のため、社会のためにあるという矜持があると私は思います。

私には一条の明かりを見た思いです。

(勤医協中央病院)

インフォームドチョイス

幹事 宮本 憲行

病気の治療を終えて退院した友人と久しぶりに酒を飲んでいるときに、ふとこう言われました。「今の医者は何も決めてくれないんだな・・・」

彼は優柔不断な私とは対極の存在で、クラスのリーダーであり、レストランのメニューを選ぶときも誰よりもてきぱきと選択できるキャラでした。話を聞くと、担当医との面談は何度もあり、疾患の説明から始まり、複数の治療法が提示されて、各々のメリット、デメリットの説明を受けてから、どの治療法を選択しますか？と言われたそうです。

私の感覚では informed consent をして、informed choice を提示し informed decision されているので、とても良い

先生に治療いただけたのだなと思っていましたが、彼には「選択肢が複数あり、どの選択肢にもリスクが伴うことになるので、一つを選ぶことは、とてもとてもストレスに感じた。」そうでした。

今日のランチは、うどんにするかラーメンにするかというような選択ではなく、「ソフィーの選択」のような究極の二択とまではいかないまでも、自分自身に何らかの悪影響が伴う選択をしなければいけないことは、とても難しいことだったようです。成功率とか生存率とかデジタルデータだけでは決めることができないのは、当然のことかもしれません。

選択肢を提示する側から考えると、いくつの選択肢を提示することが良いのか、選択肢を提示する順序はどうすべきなのか、意見を求められたときにどのタイミングで、主観的な意見を述べるのが適切なのかなどなど、今まで体系的な学習を十分受けているとはいえない状況で、経験則に則ってなんとなく？していたことに気づきました。できる限り患者さん自らの意思を尊重することが世間一般に望まれていることと聞いていましたが、特殊な状況の下では選択を誰かに委ねるといった考え方も一部あるのかもしれません。これから人工知能(AI)が進化するとインフォームドチョイスもAIが体系的にやってくれるのでしょうか。その時の選択肢の一つに「AIにお任せ」という項目はあるのでしょうか？

彼の場合は、何度も面談をして、担当医との信頼関係が構築されて、家族の意見もまとまり、彼自身が納得して決断に至ったそうです。彼の選択は今のところ正しいようで、おいしいお酒を飲めるようになって良かったと、3杯目のグラスを飲み干していました。

(N T T 東日本札幌病院)



厚生部から

第22回札幌市勤務医協議会・ 札幌市病院協議会合同ゴルフ大会報告

副会長 高橋 州平
(厚生部管掌)

平成29年6月4日(日曜日)に札幌北広島ゴルフ倶楽部にて毎年恒例の上記ゴルフ大会が開催されました。昨年までは東コースでしたが、今年は難コースである南コースとなりました。今年は11名の出場者で3組での大会となりました。今年は例年のない寒い日で、終始冷たい小雨が降る中でのプレーとなりました。今回は7時52分に南コースインからのスタートとなりました。スタートの10番ホールは池越えのホールでとてもプレッシャーのかかるコースでした。大会はダブルペリア方式で行い、トリプルカットで成績順位を決めました。

優勝は昨年に引き続き東札幌病院の染谷哲史先生で、グロス83(イン42、アウト41)のネット73.4で、ベスグロ賞を含め2連覇を果たしました。ドラコン賞1つと小波賞を獲得しました。とても飛距離のある正確なショットで安定したスコアで見事な優勝でした。準優勝は愛全病院の島崎孝志先生で、グロス88(イン47、アウト41)のネット73.6で、ニアピン賞を3つ獲得しました。飛距離が少なくなっているとは言え、とても正確なショットでした。1位は定山溪病院の中川翼先生でグロス93のネット73.8で安定したプレーをされました。大変難しいコースの中、ドラタン賞を1つ獲得しました。2位は今回初出場の東札幌病院の目黒誠先生で、グロス98のネット74.0でした。ドライバーが冴えており、真っ直ぐに300ヤード近く飛ばしておりました。まるでプロゴルファーの様でした。3位は手稲溪仁会病院の柏木明先生で、グロス94のネット74.8でした。例年に比べてドライバーショットが不安定だったようです。4位は昨年同順位の成績でした札幌商工診療所の齊藤学先生で、グロス97のネット75.4でした。ここ数年実力を上げているようで、水平賞を獲得しました。5位は札幌南一条病院の工藤晴夫先生で、グロス103のネット75.4でした。難コースのせいもありスコアには満足されておりませ

んでした。6位には札幌北榆病院の目黒順一先生で、グロス 96 ではありませんでしたがハンデに恵まれずネット 79.2 でした。7位は久しぶりに出場されました定山溪病院の松尾繁信先生で、グロス 117 のネット 84.6 でした。ドラコン賞とニアピン賞を獲得して、インとアウトの差が 13 打で大波賞となりました。8位はブービー賞となった小生で、グロス 113 のネット 86.6 で、ドラタン賞を頂きました。9位は元愛全病院の小森吉夫先生で、グロス 122 のネットは小生と僅差の 87.2 でした。小森先生は来年卒寿とのことですが、18 ホールをラウンドされる程の体力があり大変感動致しました。小森先生には毎年出場して頂いておりますが、来年も是非とも出場して頂きたいと思っております。



大会競技終了後にはクラブハウス内のレストランにて親睦会ならびに表彰式を行いました。それぞれのラウンドの内容を思い出しながら会員の皆様相互の交流を深めることができとても有意義な時間を過ごすことができました。来年は更に多くの会員の皆様に出席して頂き、会員相互の親睦を益々深めていきたい

と思います。毎回とても楽しい大会ですので、会員の皆様は気軽に出場して頂きたいと思います。今回出場されました会員の先生方におかれましては、悪天候の中大変お疲れさまでした。

(中村記念病院)

順位	氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	染谷 哲史	41	42	83	9.6	73.4
準優勝	島崎 孝志	41	47	88	14.4	73.6
1 位	中川 翼	44	49	93	19.2	73.8
2 位	目黒 誠	50	48	98	24.0	74.0
3 位	柏木 明	48	46	94	19.2	74.8
4 位	齊藤 学	48	49	97	21.6	75.4
5 位	工藤 靖夫	52	51	103	27.6	75.4
6 位	目黒 順一	49	47	96	16.8	79.2
7 位	松尾 繁信	52	65	117	32.4	84.6
8 位	高橋 州平	55	58	113	26.4	86.6
9 位	小森 吉夫	60	62	122	34.8	87.2



	新 執 行 部	
---	---------	---

－ 役 員 名 簿 －

- ・ 会 長 土 田 哲 人 (JR 札幌病院)
- ・ 副 会 長 高 橋 州 平 (中村記念病院)
- 成 田 吉 明 (手稲溪仁会病院)
- ・ 幹 事 土 井 靜 樹 (北海道医療センター)
- 堀 田 大 介 (北海道循環器病院)
- 水 尾 仁 志 (勤医協中央病院)
- 吉 田 祐 一 (東苗穂病院)
- 平 尾 紀 文 (柏葉脳神経外科病院)
- 南 雲 淳 (手稲溪仁会病院)
- 鷺 見 佳 泰 (中村記念南病院)
- 宮 本 憲 行 (NTT 東日本札幌病院)
- 鶴 間 哲 弘 (JR 札幌病院)
- 川 田 将 也 (斗南病院)
- 澤 田 格 (西岡病院)
- 小 林 尚 子 (中橋内科クリニック)
- 向 井 正 也 (札幌副会長:市立札幌病院)
- 太 田 秀 造 (札幌理事:札幌太田病院)
- ・ 監 事 小 池 章 之 (札幌立花病院)
- 大 岩 彰 (愛全病院)
- ・ 議 長 三 橋 公 美 (札幌北辰病院)
- ・ 副 議 長 真 尾 泰 生 (勤医協中央病院)
- ・ 顧 問 松 家 治 道 前 川 隆
- 平 賀 洋 明 田 中 靖 通
- 松 波 己 工 藤 靖 夫
- ・ 参 与 手 戸 一 郎 宮 坂 茂 男
- 桂 田 光 彦 戸 次 英 一

平成 28 年度札幌市勤務医協議会事業報告

月日	事 業 内 容
4.19	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回役員会 第 1 号 第 28 回札幌市勤務医協議会 定時総会関連事項 第 2 号 各部における今後の事業活動に ついて <ul style="list-style-type: none"> ①平成 28 年度札幌市勤務医協議会産 業医研修会 ②平成 28 年度全国勤務医部会連絡協 議会 ③第 21 回札幌市勤務医協議会ゴルフ 大会 (札幌市病院協議会と合同開催) ④勤務医委員会・札幌市勤務医協議 会・札幌市病院協議会との懇談会 第 3 号 その他
5.23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 28 回定時総会 1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 札幌市医師会会長挨拶 (代理:向井副会長) 4. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 第 1 号 平成 27 年度事業報告 第 2 号 平成 27 年度会計収支決算 第 3 号 平成 27 年度監事報告 第 4 号 その他 5. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> 第 1 号 平成 28 年度事業計画案 第 2 号 平成 28 年度会計収支予算案 第 3 号 幹事の追加に関する件 第 4 号 その他 ・ 記念講演会 テーマ:『今日からあなたはワイン通』 講 師:プレミアホテル TSUBAKI シェフソムリエ 澁 谷 昭 先生 参加数:59名
6.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 21 回ゴルフ大会 (病院協議会合同) 場 所:札幌北広島ゴルフ倶楽部 (東コース) 参加者:9名 優 勝:染谷 哲史 先生 準優勝:田中 繁道 先生
6.25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『勤務医協議会ニュース No.39』発行
8.29	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回役員会 第 1 号 第 28 回記念講演会開催結果 第 2 号 第 21 回ゴルフ大会開催結果 第 3 号 今後の事業活動の予定 <ul style="list-style-type: none"> ①平成 28 年度札幌市勤務医協議会産 業医研修会 ②平成 28 年度全国医師会勤務医部会 連絡協議会 ③勤務医委員会・札幌市病院協議会・ 札幌市勤務医協議会合同懇談会 ④女性勤務医師に関するアンケート調 査

月日	事業内容
10.1	・『勤務医協議会ニュース No.40』発行
11.10	・産業医研修会 場 所：札幌市医師会館5階「大ホール」 テーマ：「ストレスチェックの現状について」 講 師：北海道労働局労働基準部健康課 木村 敏 宏 氏 参加数：276名
11.26	・平成28年度全国医師会勤務医部会連絡協議会（大阪府） 会 場：リーガロイヤル大阪 参加者：向井札幌副会長 メインテーマ『2025年問題と勤務医の役割』
12.3	・囲碁大会（病院協議会・西・手稲区合同） 場 所：札幌市医師会館 参加者：6名
12.5	・第3回役員会 第1号 平成28年度札幌市勤務医協議会産業医研修会開催結果 第2号 平成28年度全国医師会勤務医部会連絡協議会参加報告 第3号 勤務医委員会・病院協議会・勤務医協議会合同懇談会 第4号 第37回札幌市病院学会 第5号 女性勤務医師に関するアンケート調査 第6号 第29回札幌市勤務医協議会定時総会関連事項 第7号 その他
1.20	・『勤務医協議会ニュース No.41』発行
2.4	・第37回札幌市病院学会 場 所：札幌市医師会館
2.6	・第4回役員会 第1号 勤務医委員会・病院協議会・勤務医協議会合同懇談会 第2号 女性医師の勤務状況に関するアンケートの実施 第3号 今後の各部事業活動の予定 第4号 第29回札幌市勤務医協議会定時総会
2.17	・札幌市病院協議会との合同講演会 場 所：札幌市医師会館 テーマ：『経営に求められるアンラーニング（捨てる学習）』 講 師：北海道大学大学院 経済研究科 教授 松尾 睦 先生 参加者：86名
3.30	・『勤務医協議会ニュース NO.42』発行

平成28年度札幌市勤務医協議会収支決算報告

【収 入】

項 目	予算額	収入額	増減比	摘 要
会 費	690,000	469,060	-220,940	会費(157名)
札 医 交付金	400,000	400,000	0	札医交付金
雑収入	1,000	81,019	80,019	研修会会費等
繰越金	1,780,870	1,780,870	0	前年度繰越金
計	2,871,870	2,730,949	-140,921	

【支 出】

項 目	予算額	支出額	増減比	摘 要
会議費	500,000	342,640	-175,360	総会費外
事業費	800,000	397,606	-402,394	講師謝金外
通信費	400,000	176,325	-223,675	ニュース発送外
慶弔費	100,000	50,000	-50,000	香典外
事務費	100,000	70,000	-30,000	事務委託費外
予備費	971,870	0	-971,870	
計	2,871,870	1,018,571	-1,853,299	

(収入額) - (支出額) = (次期繰越額)

2,730,949円 - 1,018,571円 = 1,712,378円

平成29年度札幌市勤務医協議会収支予算

【収 入】

項 目	予算額	(前年度)	増減比	摘 要
会 費	666,000	690,000	-24,000	会費(222名)
札 医 交付金	400,000	400,000	0	札医交付金
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息外
繰越金	1,712,378	1,780,870	-68,492	前年度繰越金
計	2,779,378	2,871,870	-92,492	

【支 出】

項 目	予算額	(前年度)	増減比	摘 要
会議費	500,000	500,000	0	総会費外
事業費	800,000	800,000	0	講師謝金外
通信費	400,000	400,000	0	ニュース発送外
慶弔費	100,000	100,000	0	弔慰見舞外
事務費	100,000	100,000	0	事務委託費外
予備費	879,378	971,870	-92,492	
計	2,779,378	2,871,870	-92,492	

平成 29 年度 事業計画

No.	事業項目	予定回数	担当部	備考
1	総 会	1	総 務 部	
2	総会時記念講演会	1	総 務 部	総会と同日開催
3	役 員 会	6回以内	総 務 部	
4	部 長 会	適宜	総 務 部	
5	学術講演会	1	事 業 部	2月病院協議会と合同
6	産業医研修会	1	事 業 部	1 1 月頃開催
7	勤務医委員会・病院協議会との懇談会	1	総 務 部 事 業 部	全国勤務医部会開催後予定
8	病院学会共催	1	事 業 部	2月開催予定
9	札幌市勤務医協議会ニュース発刊	適宜	総 務 部	随時発刊予定
10	札幌医通信執筆	適宜	総 務 部 会 計 部 事 業 部 厚 生 部	勤務医協議会活動について (ゴルフ大会報告等)
11	全国医師会勤務医部会連絡協議会	1		北海道において開催
12	ゴルフコンペ 囲碁大会	1 1	厚 生 部	6月開催 1 2 月開催
13	女性医師の勤務状況に関するアンケート調査の実施	—	事 業 部	調査・研究など